

令和6年第3回定例会一般質問

令和6年9月10日・11日

(14枚のうち1枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	福本千枝子議員	1 橋本市政の成果と今後のまちづくりは	<p>永年、大口市そして伊佐市の舵取りをされてきた前隈元市長の後を引き継ぎ、伊佐市の市政に奮闘され、4年が経過する。この間コロナ禍の中、市民との対話もままならない中で市民の安心安全のため必死で活動されたと思う。退陣された前隈元市長の最後の一般質問では、新庁舎の完成を期待するとの答弁があった。その後、多くの市民から1期目を託され、走り回って来られたと実感する。その中でも新庁舎建設は伊佐市の「一丁目一番地」であり、何回となく変更を繰り返し、既に工事に入り市道の拡張が進められており、完成を楽しみにしている。この4年間では、市民の皆さんの要望に対して全て実現するには難しい案件もあり、空回りすることも多々あったのではないかと想像できる。そこでこの4年間の「伊佐市のまちづくり」の成果を伺う。</p> <p>(1) 伊佐の農畜産業は稼げているのか。米の価格も下がり、子牛の販売価格の上昇が見られない。後継者育成につながる対策について伺う。</p> <p>(2) 商店街の活性化について、商工会を中心に、春の市や夏祭り等に地元商店街の方々がイベント等に頑張っているが、この賑わいをどう評価するか。</p> <p>(3) 地元企業への応援体制は。日本フードパッカー鹿児島株式会社の撤退後、後継企業としてサンキョーミート株式会社の誘致に奮闘され雇用が守られた。若者が地元へ残れる対策として何かあったのか。</p> <p>(4) 子育ての応援・支援については、中学生までの医療費が無料、給食費の一部負担などの実績を立てたが評価は。</p>	市長 教育長	

令和6年第3回定例会一般質問

令和6年9月10日・11日

(14枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	福本千枝子議員		<p>(5) 幼児や発達に不安を持つ幼児への支援対策として、子ども発達支援センターたんぼぼの充実や子育て支援センタールピナスとまむさるーんの評価は。また、支援が必要な子どもの保護者とともに活動してきた特別支援学校分置の状況は。</p> <p>(6) 高齢者が陥る通院、買物難民の解消を図るための対策は。元気高齢者づくり対策は。</p> <p>(7) 地域医療について、県立北薩病院は北薩地域の中核をなす病院である。しかし、脳外科、耳鼻科、外科と診療科目がなくなり、患者数も減少していると実感する。これまでの医師派遣の対応について伺う。</p> <p>(8) コロナが開け、人の交流が活発化してきており、インバウンドの時代となった。観光客人口の現況を伺う。</p> <p>(9) この4年間の実績や反省を踏まえ、人口減少する少子高齢化の「伊佐市」のまちづくりをどのように描いているのか伺う。</p>		

令和6年第3回定例会一般質問

令和6年9月10日・11日

(14枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	福本千枝子議員	2 南海トラフ地震による避難所の対応について	<p>(1) 8月8日午後4時43分大きな横揺れに驚いた。震源地は日向灘でマグニチュード7.1と推定された。伊佐市は震度4と報道され、今年1月1日の能登半島地震を思い出された。先の報道でもあったが、南海トラフによる地震は今後30年以内に起こると報道される。先の質問で伊佐市内の避難所は震度7に耐えられるかと伺い、羽月地区公民館、羽月西青少年センター、針持青少年センターの建屋は耐震性がないとの答弁があった。要するに補強されていないとのことだったが、その後、補強なり建替え等の検討をされたのか伺う。特に羽月コミュニティ校区協議会は校区行事も多く、会議や健康づくり講座も連日のように行われ、公民館が利用されている。ただ、この連日の炎天下による気温上昇がある中、ホールには空調設備もなく扇風機での対応で、会議中は進行者の声も聞き取れない状況である。また、和室は雨漏りがある状況である。こういう状況下では避難所としての対応は難しいと思うが、検討の余地はないか伺う。</p>	市長	

令和6年第3回定例会一般質問

令和6年9月10日・11日

(14枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	武本 進一議員	1 聴覚補償機器の活用推進を	<p>(1) 行政の窓口で難聴等により話が聞こえていない、聞こえづらい方に対してどのような対応をされてきたか伺う。</p> <p>(2) 耳が聞こえない高齢者の方に、耳の軟骨を通じて音を伝える「軟骨伝導イヤホン」というものがある。これを耳に軽くあてるだけで聞き取ることができる。行政の窓口を導入してはどうか。</p> <p>(3) 高齢者の皆様の健康寿命を延伸し、誰もが安心していきいきと生きることができる伊佐市を目指し、高齢者の経済的負担の軽減を図る観点から、補聴器購入に対して支援は考えられないか。</p> <p>(4) 高齢者に寄り添う市政の総括と、聴覚補償機器の活用について市長の見解を伺う。</p>	市長	

令和6年第3回定例会一般質問

令和6年9月10日・11日

(14枚のうち5枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	柿木原榮一議員	1 飲料水について	<p>(1) P F A S (有機フッ素化合物) について、発がん性リスクがあり日本でも汚染が危惧される P F A S 濃度の市の考え方・方向性を教示願いたい。</p> <p>(2) 全国各地で高濃度の P F A S が測定されているが、伊佐市の飲料水測定状況を伺う。</p> <p>(3) 市民から、7月後半に水道水が白く濁っていたとの連絡・苦情が続々入ってきたが、事情を説明せよ。</p> <p>(4) 伊佐市にも苦情が来たと思われるが、水道水汚染の可能性についての広報や測定結果についての対応はどうされたのか。</p>	市長	

令和6年第3回定例会一般質問

令和6年9月10日・11日

(14枚のうち6枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	柿木原榮一議員	2 市内の県立高等学校の活性化について	<p>(1) 県教育委員会の役割でもあるが、市内高校の受験者数が少ない状況のなか、市として市内高校への「伊佐のふるさと教育」の推進はどうするのか伺う。</p> <p>(2) 市内高等学校の生徒確保のため、市内小中学校での魅力ある、活力ある教育について、どのように考えるか。</p> <p>(3) 伊佐市内高校の人数確保のため、市内中学と市内高校を結びつける体制や中高一貫ができる方法・考えはないのか。また、市外の中学校へ伊佐市内高校の紹介や案内はされているか。</p> <p>(4) 7月の令和7年度公立高等学校生徒募集定員策定等に係る地区説明会で科の増設や入学定数についての要望書を提出されていないか伺う。また、科の増設や入学定数の検討について県と市の協議はなかったか伺う。</p> <p>(5) 必要とされる生徒数確保の方法と必要とされる科の増について、市の検討状況を伺う。</p>	市長 教育長	

令和6年第3回定例会一般質問

令和6年9月10日・11日

(14枚のうち7枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	緒方 重則議員	1 地域の雇用安定について	<p>昨年3月末をもって操業を終了した日本フードパッカー鹿児島株式会社、また、本年2月経営悪化に伴い事業停止したスカラー株式会社九州工場。地域発展に貢献された企業の撤退に従業員の方々をはじめ市民に大きな動揺を与えた。これらの経験を教訓とし、今後の取組について考えを伺う。</p> <p>(1) 退職・離職を余儀なくされた方々のその後の動向について把握されているのか、求職・失業中における対応も含め伺う。</p> <p>(2) 事業を引継ぎ新たに操業された企業もあり非常に有難いことであったが、現在の状況及び他の企業誘致等に向けた動きなどについて伺う。</p> <p>(3) 定期的に担当課を含め、県・市内外の関係する企業と訪問をはじめ、連絡を交わしていると思うが、アンテナを広げ情報収集の精度を上げるためにも外部からの人材を登用して企業発展と雇用安定を図る考えはないか。</p>	市長	

令和6年第3回定例会一般質問

令和6年9月10日・11日

(14枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	前田 和文議員	1 1期4年間について	<p>(1) 1期4年間の取組について現在までの経過と成果を具体的に示せ。</p> <p>(2) これまでの目標と課題をどのように分析しているのか、反省点も含め具体的に示せ。</p> <p>(3) 今後の取組について、時系列的に具体的計画を説明せよ。</p> <p>(4) 市長の思い描く当市の未来像を具体的に示せ。</p>	市長	

令和6年第3回定例会一般質問

令和6年9月10日・11日

(14枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	庵下 信一議員	<p>1 農畜産業における「稼ぐ力」の向上について</p> <p>2 マニフェストの取組状況について</p>	<p>(1) 県が進める「稼ぐ力」の向上に市はどのように対応されてきたか。</p> <p>(2) 市の対応によって農畜産業における生産販売にどのような効果が得られたか。</p> <p>(3) 重点品目の伊佐ブランド認証やかごしまブランド認定取得に向けた取組について ア 根深ネギ・かぼちゃの伊佐ブランド認証とかごしまブランド認定取得を促進する考えはないか。 イ 伊佐ブランド認証、かごしまブランド認定品目に対して、生産販売奨励金を支出する考えはないか。</p> <p>(1) 実現、達成できた項目は。</p> <p>(2) 数字で表せる項目で、これまでの実績は。</p> <p>(3) 数字では表せない項目で、取組内容と進捗状況は。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和6年第3回定例会一般質問

令和6年9月10日・11日

(14枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	星野 元興議員	<p>1 南海トラフ巨大地震臨時情報発表時の対応について</p> <p>2 電子図書館導入について</p>	<p>(1) 2024年8月8日に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表された。当市における対応を示せ。</p> <p>(2) 今後、南海トラフ地震臨時情報（地震警戒）の発表も想定される。南海トラフ地震臨時情報（地震警戒）が発表された際の対応策を示せ。</p> <p>(1) コロナ禍を経て、電子図書館を開設する自治体も増加している。当市での導入について考えを伺う。 ア 電子図書館導入の検討は現在までになされたか。 イ 電子図書館の導入予定はあるのか。 ウ 電子図書館導入について市長、教育長の考えを伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長 教育長</p>	

令和6年第3回定例会一般質問

令和6年9月10日・11日

(14枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	畑中 香子議員	1 市長の政治姿勢について	<p>(1) 市長は4年前の議会のなかで、市民ファースト、市民の方々が幸せに感じられる市政運営を行うと表明されていたが、この4年間市民の声に耳を傾けて市政を行ってきたと言えるか。</p> <p>(2) 庁舎建設について「菱刈庁舎は残す」と言いながら菱刈庁舎も含めた規模の新庁舎建設を進め、県との協議においても、新庁舎は将来的には本庁方式として教育委員会も移すと説明し、菱刈庁舎は窓口業務のみに縮小していくことを菱刈住民に伝えないで強引に進めたのではないか。</p> <p>(3) 5,326人もの住民が求めた住民投票条例請求に対し、庁舎部分は80億ではない、住民がふれあいセンターまで含めた建設費について問題としているかどうか分からない、としながら請求は妥当でないとしたがこれで住民の声を聞いてきたと言えるのか。</p>	市長	
		2 庁内のパワハラ問題について	<p>(1) 現在病気療養で長期休職中の職員数は。</p> <p>(2) 本年度4月の人事異動以降、毎月人事異動を行っていると思うが、どのような理由か。</p> <p>(3) 兵庫県知事のパワハラ疑惑が問題になり、改めてパワハラはあってはならない違法行為であることが認識されているが、本市の庁舎内でパワハラにあたる事案は発生していないか伺う。</p> <p>(4) 市長室の前で市長の怒鳴るような大きな声を聞いたとの市民からの声があるが、大きな声で職員を指導する場面があったかどうか伺う。</p>	市長	

令和6年第3回定例会一般質問

令和6年9月10日・11日

(14枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	畑中 香子議員	3 次期市長選挙に立候補を表明されているが、市民の要望が強い施策について見解を伺う	(1) 学校給食費無償化について (2) 子ども医療費の高校卒業までの窓口無料化 (3) 本市における水俣病問題について (4) 本市を取り囲む風力発電所建設計画について (5) ごみ袋の値下げについて	市長 教育長	

令和6年第3回定例会一般質問

令和6年9月10日・11日

(14枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	岩元 努議員	1 第2次伊佐市総合振興計画「観光・交流の推進」の具体内容は	<p>(1) 地域資源を活かした観光、交流の推進の具体内容について</p> <p>ア 本市の観光地である曾木の滝、十曾周辺における効果的なプロモーションとは何か。</p> <p>(2) それぞれの観光地の特色を活かした民間投資が行われている中で、行政の関わり方、対応について伺う。</p> <p>ア 曾木の滝周辺整備として、駐車場拡張の要望があると思うがこれまでどのような協議がなされているのか。民間所有地の取得の現状と課題について、進捗状況と今後の展望について考えを示せ。</p> <p>イ 川内川上流漁業協同組合の自主事業として、7月21日にオープンした十曾釣り堀センターは、8月25日現在の来場者数は15日間の営業で1,200人を超えたと報告された。新たな体験型観光の拠点となった。道路・駐車場等、周辺整備について関係者と協議し、よりよい環境を整備することでより一層の集客数を見込めると考えるが、見解を伺う。</p> <p>ウ 釣り堀センター、十曾青少年旅行村、十曾ブルーベリー摘み取り観光農園と一体的な体験イベント等、具体的に関係者と市内外から集客するイベント企画など協議しているのか。</p>	市長	

令和6年第3回定例会一般質問

令和6年9月10日・11日

(14枚のうち14枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	岩元 努議員	2 ふるさと納税推進係設置の検討は	<p>(1) 観光特産PR係内にあるふるさと納税部門を係として設置する考えはないか。 ア ふるさと納税専属職員の人員配置状況と、納税実績から見る現状と課題の分析状況は。</p> <p>(2) ふるさと納税制度は伊佐市にとってどのようなメリットをもたらしているのか。</p> <p>(3) 自治体にとって税収向上、PR、関係人口の創出は、地方自治体にとって今後、生命線となりうる。メリットを最大限生かすために取り組んでいる内容を示せ。 ア 納税額の推移から見た、増額要因と今後の目標値。目標達成に必要な要素とは何か。 イ 地域のPRにも活用できる返礼品として、地場産品の開拓、宿泊や体験など新規返礼品の開拓は。 ウ 8月、11月に「ふるさと納税月間」を設置し、帰省時期や12月駆け込みを見据えた関係人口の創出を見込めると思うが取組は。</p>	市長	